

# JCAN フェア 2015 Spring

～ 「電子契約最前線：全ての取引書類の電子化に向けて」 ～

JIPDECでは、「安信簡（あんしんかん）」な情報環境の実現を目指し、JCAN（ジェイキャン）パブリック証明書普及プロジェクトを実施しています。電子証明書の用途のなかでも、改めて、企業間の電子契約への関心が高まっております。近年の電子帳簿保存法の規制緩和等の最新動向を踏まえ、有識者による講演と共に、JCAN ユーザ会会員企業によるソリューション紹介を行います。

※「安信簡（あんしんかん）」・・・「安心＆安全・信頼＆信用・簡単＆簡便」からの造語

名称：JCAN フェア 2015 Spring～「電子契約最前線：全ての取引書類の電子化に向けて」～

日時：2015年2月16日（月）13：30～18：30（受付開始13：00）

場所：機械振興会館ホール（東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館地下2階）

対象：電子契約、文書の電子化に関心のあるユーザ企業および情報サービス企業の方

定員：150名（定員に達し次第、締め切らせていただきます）


主催：一般財団法人日本情報経済社会推進協会（JIPDEC）

参加費：無料（事前登録制）

申込先（ウェブ）：<http://www.jipdec.or.jp/project/anshinkan/event/20150216.html>

プログラム（予定）：



時間	講演内容および講師
13：30 -14：00	<b>講演1 「安信簡情報環境推進事業の取り組みについて」（仮題）</b> 小林 正彦（一般財団法人日本情報経済社会推進協会 常務理事） 本フェア開催の趣旨および安信簡情報環境事業の取り組みについて説明します。
14：00 -15：00	<b>講演2 「電子契約の導入・文書電子化における法的要件と規制緩和について」</b> 袖山 喜久造氏（税理士・SKJ 総合税理士事務所 所長） 国税関係書類のスキャナ保存制度が改正される見通しが立ち、保存要件の緩和などにより導入を検討する法人等が増加することが見込まれます。法律の改正見込みの内容及び申請の際の導入企業が留意すべき事項などについて、ご講演頂きます。
15：00 -15：30	<b>講演3 「電子契約における電子証明書の役割について」</b> 柴田 孝一氏（タイムビジネス協議会 企画運営部会長） 電子契約・電子文書における電子署名とタイムスタンプ、長期署名について、最新動向を含めて、ご講演頂きます。
15：30 -15：50	<b>休憩（電子契約ソリューション紹介コーナー：会場内展示）</b>
15：50 -17：10	<b>プレゼンテーション「JCAN ユーザ会会員企業による電子契約ソリューションの紹介」</b> JCAN ユーザ会会員企業 JCAN 証明書をを用いた様々な「電子契約」ソリューションをご紹介します。 
17：10 -17：30	<b>講演4 「電子契約・電子文書に関する取り組みについて」（仮題）</b> 大泰司 章（一般財団法人日本情報経済社会推進協会 安信簡情報環境推進部 事業推進室長） 電子契約・電子文書の普及促進に向けて、今後の当協会の取り組みについて説明します。
17：30 -18：30	<b>電子契約ソリューション紹介（会場内展示）</b> JCAN ユーザ会会員企業 パネル展示等にて、JCAN ユーザ会会員企業の電子契約ソリューションを個別にご紹介します。

一般財団法人日本情報経済社会推進協会（JIPDEC）

<http://www.jipdec.or.jp/project/anshinkan/>

JCAN

検索

